

放課後等デイサービス事業所における自己評価

討議年月日: 令和 7年 3月 1日

公表: 令和 7年 3月 10日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	2	指定申請時に児童の活動スペースは満たしております。プログラムの内容によっては部屋を分けて活動しています。
	2	職員の配置数は適切である	3	9	職員の配置人数は必要配置基準を満たしております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	2	バリアフリーの配慮を必要とする対象児童・保護者がいないので、特別な処置は行っていないが、フラットな床や引き戸の設備は整っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	1	常に目標を設定し改善点を話し合い、課題解決、ヒヤリハット又は事故等が無いように話し合いをしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12		アセスメントを元に支援計画を立て支援しています
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	1	ブログ等で公開、教室に掲示しています
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	1	評価結果を共有し、業務改善していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	1	社内研修、外部研修の場を設けています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12		年2回の保護者面談にてアセスメントを行い作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	1	様々なアセスメントツール及び保護者との会話の中で出て来るニーズや課題などについて合理的配慮を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	12		月間計画から活動プログラムを計画しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12		5領域に合わせたプログラムを行っています。利用児童に合わせて職員間で話し合い実践しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	2	集団療育、個別療育にて課題を設定し支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	子どもの状況に合わせてサービス計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12		支援前に打ち合わせの時間を作り情報共有に努めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12		終礼を行いその日の振り返り、情報共有に努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12		ヒヤリハット報告書等に記録し、情報共有、支援の検証等を行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12		定期的なモニタリングを行い見直し、より良い支援が提供できるようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	12		5領域に合わせたプログラムを行っています。

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12		富士見市の連絡協議会にはテーマに合った職員を選出し参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	12		変更がある都度情報を共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10	2	現在該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	2	保護者様の了承を得て情報共有、相互
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	2	ご要望があれば対応したしております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	児童発達センター等に定期的に訪問しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	5	現在交流する機会が無い為、今後甲虫する機会を設けて行こうと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	11	1	富士見市の協議会へ参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	1	HUG(連絡帳)、送迎時などにお伝えしています。その他、面談の機会も随時設けております。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	4	ご要望があれば対応しております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12		契約時に保護者様に説明しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	1	ご相談は随時受け付けております。契約時にもその旨お伝えしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	4	以前保護者会のアンケートをとりましたが、参加希望者が少なかった為開催できませんでした。保護者参加型のイベント等の開催はご案内しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12		契約時に保護者様に相談窓口のご案内をしております。職員間で情報共有し解決に向け対応しています。苦情があった場合は当日迅速に対応を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	3	HUG(連絡帳)・公式LINEで発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	12		鍵付きのキャビネットにて厳重に管理しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12		研修を行い職員教育を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	4	地域の方から畑を提供していただけた為、教室の行事に栽培した野菜等と使い地域との交流を図る運営計画を立てています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	3	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しており、保護者様には契約時に周知しています。職員への周知は各種マニュアルを事務室に補完し閲覧できるようにしてあります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12		訓練に関しましては、年2回以上の実施が義務づけられています。当事業所でも年2回以上の訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12		年2回虐待防止研修を行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	3	契約時に保護者様にご説明し、了承を得ています。職員へは研修を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	3	入所時のアセスメントにてアレルギーの有無を確認しております。該当児がいる場合には適切に対応致します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12		ヒヤリハットの作成を行い職員間での情報共有を徹底して行っています。